



ごみ収集車で熱中症対策を呼び掛け 大塚製薬が啓発物品を寄付

2021 年 6 月に「健康増進に関する包括連携協定」を締結した大塚製薬首都圏第二支店（横浜市西区）から、熱中症対策を呼び掛けるマグネットシートの寄付を受けます。

1 日時

8 月 12 日（水） 14 時～

2 場所

本庁舎・正面玄関前

3 概要

熱中症対策として市民に小まめな水分・電解質補給を促すため、同社が販売する飲料水などが描かれたマグネットシートが寄贈。シートはごみ収集車に貼り付け、市内全域で熱中症対策を呼び掛けます。

(1) 寄贈物品

マグネットシート（30 セン×60 セン） 120 枚

(2) 訪問者

大塚製薬首都圏第二支店 佐々木啓吾（ささき・けいご）支店長

4 P R したい内容、事業のポイント、前回との違いなど

・ 同社の取り組みで、ごみ収集車を利用して熱中症対策を啓発する取り組みは県内で初めてです。

・ 市ではごみ出しが困難な高齢者などを対象に、玄関先などからごみを回収し、ごみが出ていないときに声を掛ける「愛の一声ごみ収集事業」を実施。対象となる高齢者などには、同社が作成した熱中症対策の啓発リーフレットを配布します。

本資料の問い合わせ先

環境農政部 資源循環推進課

課長 戸井田 基樹 電話 046-225-2795